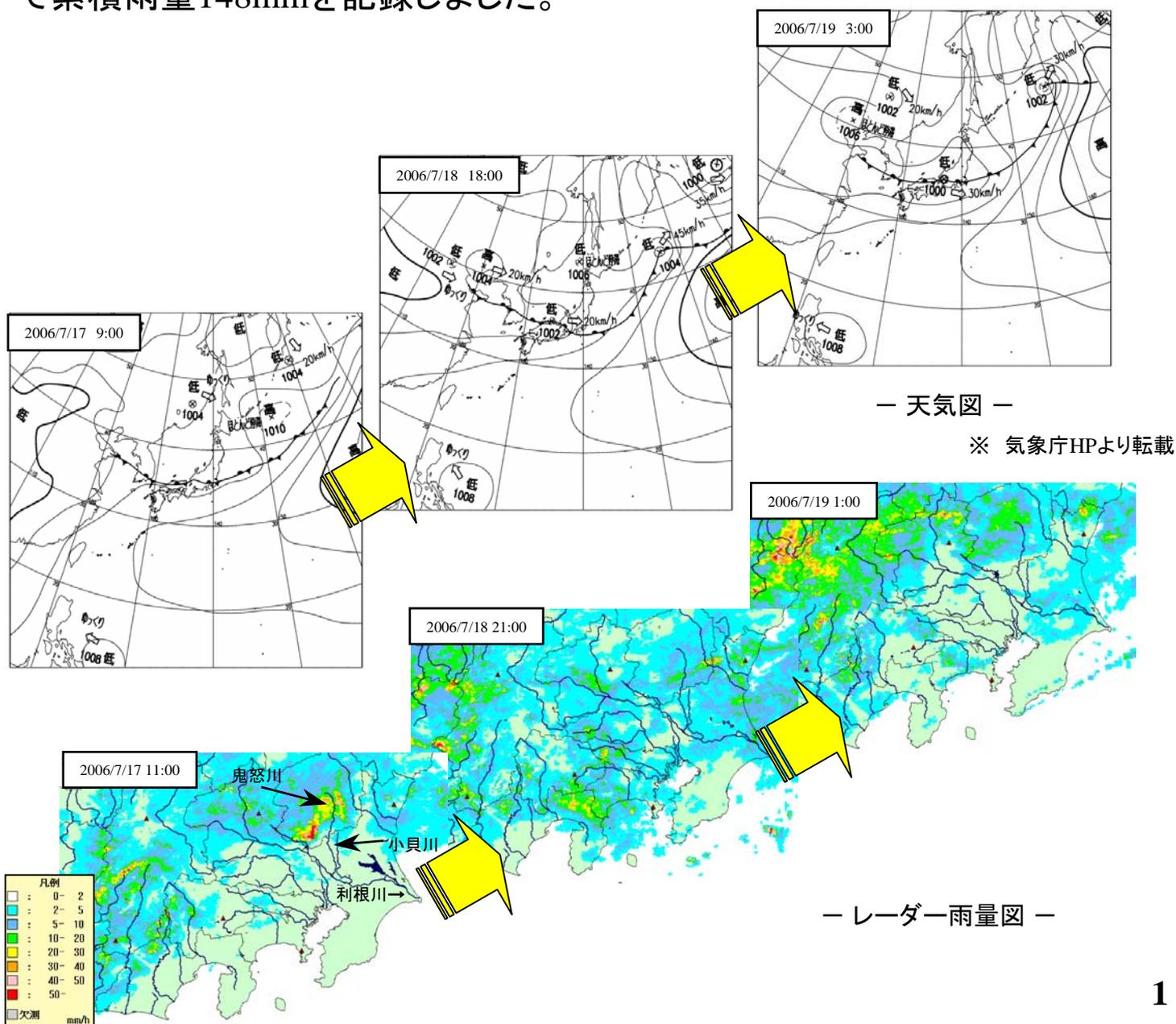


平成18年7月17日梅雨前線による出水(速報)

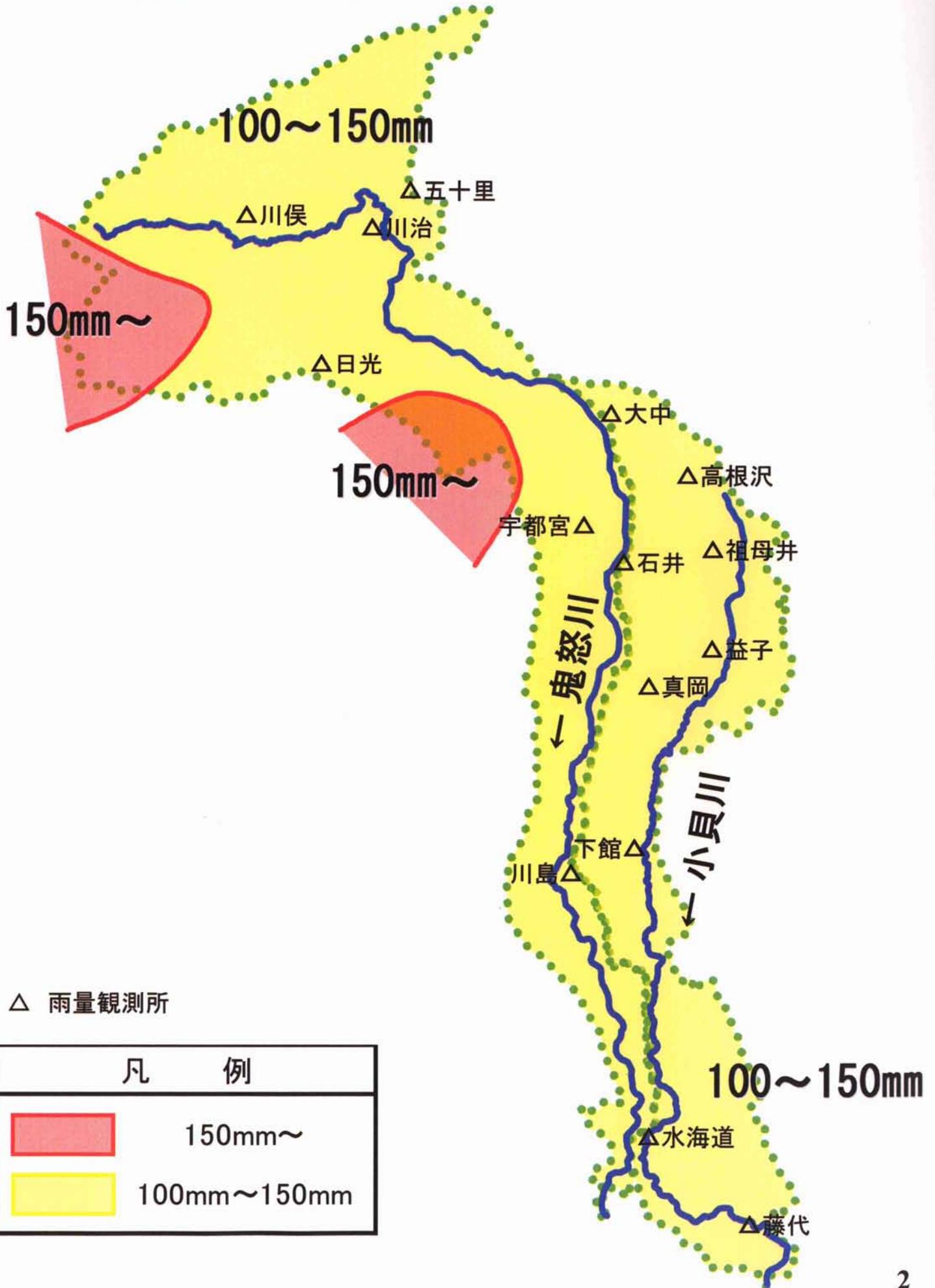
■ 気象概要

本州付近に停滞していた梅雨前線と台風4号から変わった温帯低気圧の影響により、15日から本州、四国、九州地方全域で大雨となりました。

鬼怒川・小貝川流域においても、梅雨前線と温帯低気圧の影響による雨が17日早朝から降り始め、梅雨前線の南下に伴い、19日日界付近では一時的に強い雨となり、17日から19日までの鬼怒川上流の大中雨量観測所で累積雨量155mm、小貝川上流の祖母井雨量観測所で累積雨量148mmを記録しました。



■ 累加雨量分布図 (平成18年7月17日~19日)



■ 水位状況

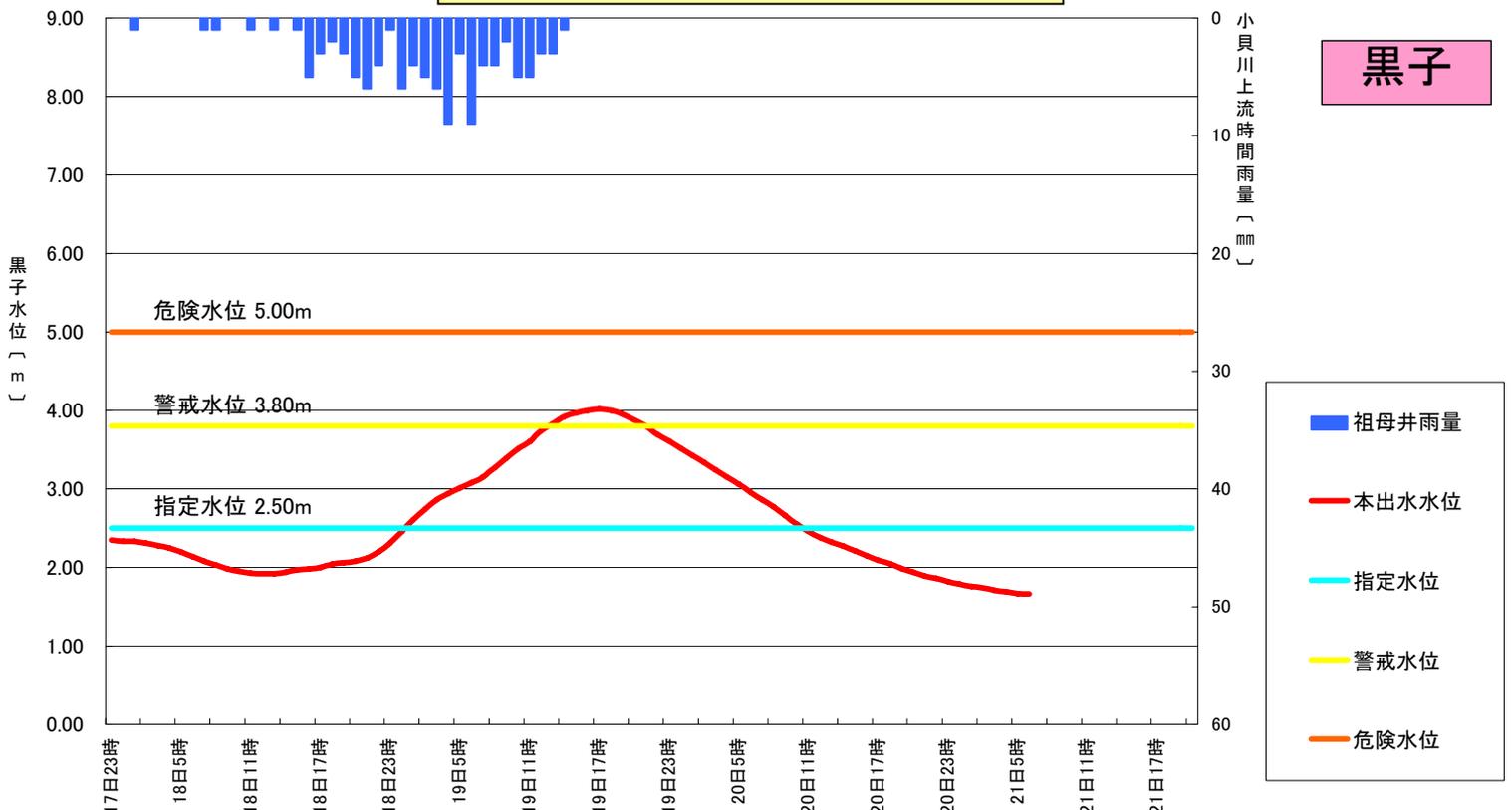
今回の梅雨前線による大雨により、鬼怒川・小貝川で下表に示す通り、平常時と比べて著しく水位が上昇しました。小貝川においては、上流の三谷と黒子基準観測所で、警戒水位を超える出水となりました。

※速報値

観測所	鬼怒川				小貝川			
	佐貫	石井	川島	水海道	三谷	黒子	上郷	水海道
指定水位 (m)	1.50	1.00	0.00	1.50	1.40	2.50	3.00	3.80
警戒水位 (m)	2.30	1.50	1.10	3.50	1.80	3.80	3.60	4.60
危険水位 (m)	3.70	2.70	3.10	5.30	2.90	5.00	5.20	5.90
本出水最高水位 (m)	0.19	0.17	-0.37	1.23	2.00	4.02	3.56	4.55
指定水位継続時間 (h)	-	-	-	-	14	25	23	28
警戒水位継続時間 (h)	-	-	-	-	10	9	-	-



黒子観測所(茨城県筑西市)



■ 排水機場による効果

今回の出水では、排水機場の稼働により、支川水位の上昇を抑制し、水害の防止に効果を発揮しました。排水機場による排水量は、630万 m^3 以上（高さ1.5m、幅15mの25mプール約11,300杯）に及びました。

排水機場の稼働状況

施設名	運転時間(h)	累積排水量(m^3)
高木川排水機場	120	959,100
糸繰川排水機場	30.5	806,400
伊丹排水機場	143.5	3,713,382
伊丹救急排水施設	13.5	172,800
八間堀川排水機場	11	409,500
古内樋管ポンプ設備	144	259,200
合計	462.5	6,320,382

■ 出水時の状況



小貝川71.5k付近 三谷橋から
(二宮町高田地先)



小貝川71.5k付近 三谷橋下流
(二宮町高田地先)



小貝川67.8k付近 八田堰
(筑西市小栗地先)



小貝川53.5k付近 黒子橋
(筑西市西保末地先)